





























高精度非接触形状計測装置

特 許 権 者:和歌山大学長

従来、非接触三次元形状計測法としては、物体に格 子を投影し、異なる角度からその格子を撮影して得ら れた画像を解析する格子投影法がよく用いられてい る。精度のよい計測を行なうためには、格子画像から 格子位相値を精度よく求めることと、格子位相値から 三次元座標を計算するときに用いるパラメータを精度 よく求めることが重要である。格子画像を解析するに は、位相シフト法、フーリエ変換格子法、ガボール変 換格子法、フーリエ変換位相シフト法などが開発され ている。

ところで、パラメータは、カメラとプロジェクタの レンズの中心や向きなどの光学系のパラメータが用い られてきたが、これはレンズ収差がないと仮定して求 められているため、実際にはその影響が誤差として現 れる。つまり、計測精度が高くなればなるほど、レン ズ収差の影響が大きくなり無視できなくなるのだ。し たがって、精度を高めたときの問題点は、テレビカメ ラとプロジェクタのレンズの収差の影響が測定に入る ため、計測結果に歪みが生じることである。

そこで本発明では、光学系パラメータを求めずに、 基準平板に描かれた格子画像を直接座標計算に用いる ことによって、レンズ収差が全く影響しない高精度形 状計測を行なうことができる。

patent review

用 語 解 説

レンズ収差

レンズを通る光線が正しく一点に集まらず、不完全な像 ができること。

位相

振動や波動のような周期的現象は、時刻や場所を特定し たときの振動の段階を示す変数。本発明の場合は、投影 する格子の濃淡の変化を波とみなして、その位相を求め

ユーザー業界







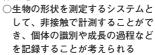




活用アイデア

ライセンス情報番号:L2004000803

身体測定システム



壊れやすいものの形状測定システム ○もろく、壊れやすい土器や出土品 などの形状測定に利用する

個体識別システム

○接触することなく、形状を測定す ることで個体の識別をする装置と して、生物や美術品などのID管理 をする

やわらかいものの形状測定

○饅頭、豆腐、身体などのやわらか いもの、身体内部のポリープなど の形状測定に利用する

market potential

本発明は、レンズ収差の影響を排除する必要が あるほどの精度に向上させているため、従来は精 度に不満の合った用途への展開が優先的に考えら れる。

例えば、遺跡からの出土品や、彫刻や造形品な どの美術品では、レプリカの作成が重要になって いる。文化、芸術の中身が、集客や訴求に寄与す ることがあらためて認識されているからだ。とこ ろが、本物がそのまま公開されるわけにもいかず、 またあまり似ていなければ価値はほとんどない。 したがって、経済効果に直接貢献させるためには、 本発明の高精度な形状測定装置が待望されていた のである。

また、やわらかいもの、例えば人体や食品、ス ポンジのようなクッション素材の形状測定も容易 にできるはずだ。また、顕微鏡や内視鏡での利用 を考えると、古墳などの調査で、非接触で出土品 の形状を測ったり、体内の病巣などの形状の測定 に利用できる。カメラとプロジェクターにより形 状計測を正確にできるので、手軽で応用範囲は広 いと考えられる。

特 許 情 報

・権利存続期間:12年5ヶ月(平28.9.24満了)

・実施段階:実施無し

・技術導入時の技術指導の有無:応相談

・ノウハウ提供:応相談

・ライセンス制約条件:許諾のみ

出願番号:特願平08-251663

出願日/平8.9.24

公開番号:特開平10-096606

公開日/平10.4.14

特許番号:特許2913021

登録日/平11.4.16

特許流通データベース情報

・タイトル:形状計測方法及び装置

・ライセンス番号:L2004000803

http://www.ryutu.ncipi.go.jp/db/index.html

からご覧になれます。

参考情報

・特許流通アドバイザーによる推薦

・関連特許:あり

皆様からのお問合せを、お待ちしています。

この特許の問合せ先

和歌山大学 総務課研究協力係 係長 長谷 浩

〒640-8510 和歌山市栄谷930番地 TEL:073-457-7552 FAX:073-457-7550 E-mail:hase@center.wakayama-u.ac.jp

もしくはお近くの特許流通アドバイザー (P198~201をご覧下さい)にご連絡下さい。











































